

会議の概要

平成29年度 第1回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

- 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
- 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
- 大玉中学校学校運営協議会

日 時：平成29年5月17日（水）18:30～20:30

場 所：改善センター2階 農事研修室・相談室

進行…事務局

- 1 開会の言葉 H28 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 後藤みづほ
- 2 委員の任命・委嘱状の交付 大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎
 - ・新たに任命された委員の代表受領
 - ・学校関係者委嘱状代表受領
- 3 教育長あいさつ 大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎
 - ・大玉村では「地域とともに歩む」をテーマに平成23年度からコミュニティ・スクールに取り組んできた。また新しい体制でスタートできたことをまず御礼申し上げます。
 - ・今年度の新たな事業「地域学校協働本部」について。県のモデル事業として、3年間取り組んでいく。コミュニティ・スクールとの関わり方をどうするか、皆様から提言をいただきながら進めていきたい。
- 4 自己紹介
 - ・新たに任命された委員の皆様からの自己紹介
- 5 役員改選（座長 教育長）
 - ・会 長（ 伊藤和弥 様 ）
 - ・副会長（ 後藤みづほ 様 ）（ 矢吹吉信 様 ）（ 武田伸一 様 ）
 - ※コミュニティ・スクール委員会新役員あいさつ
 - ・保護者、地域住民、先生方と協力してこの会を盛り上げ、子どもたちのために村の教育活動のみならず、地域のために頑張っていきたい。どうぞよろしくお願いいたします。
- 6 本日の内容・進め方及び諸連絡について（事務局）
- 7 協議 （座長 CS会長）
 - (1) 各園・各校から（今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他）
 - ① 大山幼稚園
 - ・主体的に活動する力の育成に力を入れていきたい。
 - ・社会性の育成については、様々なトラブルの経験も重要なので保護者の理解を得ながら指導していきたい。
 - ・運動遊びについて、苦手な子どもも取り組めるように、体を動かすことの楽しさを味

わわせられるよう工夫していきたい。

- ・保護者の思いを大切にしながら支援していきたい。

② 玉井幼稚園

- ・子どもたちが「自らすすんで」という部分に力を入れて支援していきたい。
- ・子どもたちが自分で考え、判断する場面づくり。
- ・遊びの創造のために、じっくり考えたり工夫したりできる環境づくり。
- ・読み聞かせは、話を聞く態度を養うことにつながる。参観日を利用して、親子での絵本タイムをつくり、読み聞かせを実践する。
- ・集団生活の中でのトラブルも相手の気持ちを考えるための貴重な体験。保護者の理解を得ながら対応していきたい。
- ・好きなこと以外にも取り組めるようにチャレンジカードを利用し指導する。
- ・家庭と連携し、基本的な生活習慣の定着を図る。
- ・危険回避能力を身に付けられるよう支援。

③ 大山小学校

- ・運動会、5月13日は雨天延期となり、14日（日）に実施した。本校は例年、4月末に運動会を実施していたが、今年は初めて5月に開催し、年度初めの慌ただしい時期に余裕がもてた。来年以降今年の反省をもとに実施時期を検討する。
- ・5、6年生は5月末の南達陸上の練習に取り組んでいる。
- ・今年度の教育目標も「夢にむかってがんばる子」。朝の時間を活用したチャレンジタイム、週に一度昼休みを活用し習熟の時間を設け、成果を上げていきたい。
- ・道徳の教科化により、心の授業の充実のために（ひと・もの・こと）を活用。あいさつ運動の充実。
- ・本校の生徒は「自らすすんで」という部分が課題。がんばれる子の育成のために、目標をはっきりさせて、学校と家庭が連携してよりよい習慣づけを図ってきたい。
- ・ボランティアの方々には学習支援はもとより、畑作業、朝の読み聞かせなど大変お世話になっている。お世話になるばかりでなく、子どもたちからも地域に還元できるような取り組みをしたい。

④ 玉井小学校

- ・教育目標は「玉っ子みんなでチャレンジ」。幼稚園から貫いているテーマである。目標を持って、自分だけでなく、「みんなで力を合わせて」という要素も入っている。
- ・昨年、第三者評価の対象校となっていたので、その報告書から、家庭教育との関わり方について工夫が必要との話が出ていた。学校と家庭が「共に子どもを育てる」という姿勢で、どのように関わっていけばよいか前向きに考えていきたい。
- ・キャリア教育の視点をもって指導に当たっていく。
- ・幼稚園とも近く、連携しやすい環境にある。学びの基礎力をつけるため幼小の連携を図ってきたい。

⑤ 大玉中学校

- ・教育目標は、昨年と同じものに設定している。
- ・先生方には、子どもたちのために授業を充実させる、常に学び続けるという姿勢をもちながら授業を創造してほしいということを伝えている。
- ・地域人材の積極的な活用とキャリア教育を充実させたい。そのためにも職場体験活動を中心とした体験活動を充実させる。体験活動ではオータム・フェスタも重要になる。
- ・あいさつ運動も日本一を目指して頑張っている。
- ・心身の健康増進と安全指導の充実のために、保健体育と食育の充実の他、部活動の充実も図る。部活動については外部指導者を積極的に登用するという指針が出たので、地域の方々で指導に長けた方を登用していきたい。

- ・学校づくりと地域との連携については、地域の他、福島大学との連携も図っていききたい。

(2) 平成29年度おおたま学園コミュニティ・スクール委員会の方針・年間活動計画について

- ① 理念についての再確認
- ② 平成29年度の重点について

※平成29年度は「地域学校協働本部事業（地域学校協働活動）」との関連を明らかにしながら、以下の項目を重点とする。

- 昨年度から実施しているオープンスクール（おおたま学園主催の授業研究会）に、CS委員の皆様に参加いただき、各校園の学校運営協議会をその当日夕方に行う。このことにより、子ども理解・学校理解のより一層の深まりとともに、それらに基づいた協議の活性化と深まりを目指す。
- 学校関係者評価機能をCS委員会に組み入れ、学校経営・運営の改善のサイクルが有効に機能するようにする。
- 教育フォーラムは、保護者、村民の方々が年に1回集い、教育・子育てについて語り合う場として継続する。内容・運営は役員会が概要を企画し、CS委員会の中では、協議の時間をできるだけ短縮する。
- おおたま・オータム・フェスタの充実に向けて、準備、実施、反省を行って、活動の有効性を検証する。

- ③ 平成29年度おおたま学園コミュニティ・スクール委員会活動計画（案）について説明
 - ※6、9、11月実施の各校園主体の学校運営協議会は、オープンスクール（5校時の授業参観）と一緒にやる。そのため、午後から夕方にかけて開催する。（授業参観－事後研究会－学校運営協議会の午後半日の予定）
学校運営協議会には、各校園の運営状況の説明が十分できる体制で臨む。
 - ※役員会は厳選して実施する。（計画は2回 *5月と10月）
会長、副会長、代表校長1名に参加を願いたい。

(3) その他

8 研修

(1) 今年度より委託を受けた地域学校協働本部事業（地域学校協働活動）について

○事務局より説明

- ・ボランティアとして関わっていただくのは、個人だけでなく、各種団体へも参加を呼びかけ、地域全体で子どもを育てていこうという事業である。
- ・子どもたちが支援を受けるだけでなく、地域行事へ参加したり、ボランティア活動を行うなどにより地域へ還元する活動を推進していく。子どもたちが地域に出て活動することで、地域も活性化させていくのがねらい。
- ・各々が取り組んでいる事業をより一体的にし、より多くの方に加わっていただくことで、子どもたちの学びの充実を図るとともに、関わった地域の方々の学びの場を提供する。
- ・「地域学校協働本部」には地域コーディネーターを配置し、学校側の窓口として地域学校協働活動推進員を配置した。

(委員) 今までのコミュニティ・スクールと今回委嘱を受けた「地域学校協働本部」の違いについて、説明をお願いしたい。

(事務局) コミュニティ・スクールは保護者を含めた地域の意見を学校運営に反映させましょうというもので、そのために一定の権限も与えられている仕組みである。「地域学校協働活動」は、これまでも実践されているボランティアを中心としたさまざまな教育支援を基礎にしながら、学校と地域がより連携した活動を推進していこうというもの。これからは双方向に関係を深めていけるような事業を展開していくことを目指している。しかし、この事業が立ち上がったからといって、新規の事業を起こすというのではなく、既存の事業と両輪となって進めていくものである。

具体的な取り組みとしては昨年実施された「おおたま・オータム・フェスタ」がすでにこの事業の先駆けになっているものと捉えている。これからも皆様のご意見をいただきながらさらに活動を広げていきたい。

- ・県からの委嘱を受けたのは国見町や大玉村などということで、向こう3年間は同時進行で取り組んでいくことになる。先生方も大変だと思うがご協力をお願いしたいと思う。
- ・子どもたちのためにさまざまな取り組みが、保護者の方にきちんと伝わり、保護者側からも支援の輪が広がればさらに良いものになっていくと思う。ここに集まっている我々だけが先走ってしまうことのないようにしたい。

9 おおたま・オータム・フェスタ担当打合せ

* 実行委員会部長との合同会議

○ 事務局より説明

- ・ 昨年の最終実施計画を基に、変更した点と各部の担当者割当について、事務局案を提示し審議した。

○ 各部に分かれての協議

【園児と大人の交流事業】

- ・ 内容は未定。昨年同様か、ミニ運動会。幼稚園の打ち合わせ会で細案を検討する。

【昔遊びとグラウンドゴルフ体験】

- ・ 大山小学校の児童は、朝は徒歩で村民体育館へ移動、帰りは現地解散だったため、車が混乱し危険だった。行き帰りのバスの確保はできないか。
- ・ 老人クラブさんが、休憩も取れず大変だったという反省がある。ローテーションの工夫が必要。種目も検討を要す。
- ・ 保護者ボランティアを募り、遊びの指導の補助に入ってもらい老人クラブさんの負担を軽減する。また、交通整理などにも協力を仰ぐのはどうか。

【大名倉山登山】

- ・ 児童数が昨年の78人から91人に増えたので、班の数が増える。ボランティア等大人の人数確保が必要。
- ・ 昨年同様、あだたらを知る会、産業課の協力を仰ぎながら進めていきたい。

【安達太良ふれあい登山】

- ・ 目的がふれあいなので、山頂で合流ではふれあいの場がなくなるのでは？みんなでゴンドラを使ってはどうか。出会わせ方の工夫が必要では？
- ・ 無線の配置を増やしてはいただけないか。
- ・ 下見登山の日程について見直しが必要。午前中から行かないと、強行登山で大変。

【オリエンテーリング】

- ・ 県民の森での新しいコースを使用。
- ・ 来月オリエンテーリング協会でもコース作成の下見をする。
- ・ 地図と会場の確認が必要。

- ・ スタート、ゴールの位置によっては、大型備品の準備が必要となるのではないかと
- ・ 昨年同様、協会より来ていただき事前指導ができれば良い。
- ・ 緊急車両の準備。

【アートフィールドワーク】

- ・ 交通安全協会は昔遊びでお願いするので、防犯協会へ協力を依頼したい。
- ・ 講師の先生を今年もお願いしたい
- ・ PTA（保護者）の協力も仰ぐ。
- ・ 優秀作品を絵はがきにすることについて、予算も取っている今年も実施する。



おおたま・オータム・フェスタの各部ごとに分かれて協議しました。

10 閉会の言葉

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 矢吹吉信

〈次回の予定〉

- 玉井幼稚園・小学校オープンスクール 6月28日（水）13：30～
- 第2回コミュニティ・スクール委員会（玉井幼・小）6月28日（水）16：30～